



### 「すぐ帰れる」サービス

「診療が終わったら会計を待たずにすぐに帰りたい!」という方は、クレジットカードとスマートフォン(パソコン、タブレットでも可)があればすぐに登録でき、その日の外来支払から利用できる「すぐ帰れる」サービスをご利用ください。QRコードを読み取り、必要事項を登録すれば完了です。登録した患者さんは、1階計算の専用窓口か2~4階エスカレーター脇の保険証確認窓口で受付後、会計を待たずにそのまま帰宅することができます。是非ご利用ください。



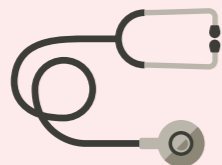
### 全診療科における完全紹介制の導入

当院では全診療科において、完全紹介制とさせていただきます。当院に初めておかけの場合、新たな診療科におかけの場合、前回の来院より3ヶ月以上経過している場合は、原則として他の医療機関からの紹介状(診療情報提供書)が必要となります。

《例》他の医療機関からの紹介状(診療情報提供書)が必要になるのは…

- ・ある科を受診中の方で、別の診療科を初めて受診したい場合
- ・過去に受診した診療科でも、自己判断により3ヶ月以上受診がない場合

完全紹介制を導入した経緯は、専門的な診療を提供する大学病院としての使命と役割を果たすためですので、ご理解・ご協力をお願いいたします。



### 献体のご案内

献体とは、医学・歯学の大学における解剖学の教育・研究に役立たせるため、自分の遺体を無条件・無報酬で提供することをいいます。自分の死後、遺体を医学・歯学のために役立てたいと志した方は、まず最初に生前から献体したい大学や団体に名前を登録しておく必要があります。献体に関するお問い合わせは、下記をお願いいたします。

■ お問い合わせ先  
東京医科歯科大学献体の会事務局  
TEL : 03-5803-5147



### セカンドオピニオン外来

セカンドオピニオン外来は、当院以外の医療機関に通院している患者さんを対象に、診断内容や治療法に関して、意見・判断を提供し、今後の治療の参考にさせていただくことを目的としています。ご希望の方は、まず現在の主治医と相談の上、セカンドオピニオン外来にお申込みください。通常の外来受診とは異なりますのでご注意ください。

なお、当院での診療内容に関して、他院でのセカンドオピニオンを希望される方は、診療情報提供書や資料を用意いたしますので、担当医にお申し出ください。

■ お問い合わせ先  
セカンドオピニオン外来  
TEL : 03-5803-4568 平日9:00~16:00



### 梅いち輪募金のお願い

梅いち輪募金(東京医科歯科大学医学部附属病院支援基金)は、患者さんから寄せられるサービス改善のご要望を、できることから実現するために活用させていただき基金です。一口1000円からお申込みいただけます。詳しいことは下記までお問い合わせください。

■ お問い合わせ先  
東京医科歯科大学募金室  
TEL : 03-5803-5068  
Email : bokin.adm@tmd.ac.jp



### 新型コロナウイルス感染症対策基金のお願い

新型コロナウイルス感染症対策基金にご協力ください  
東京医科歯科大学は2つの基本理念で、新型コロナウイルス感染症に正面から取り組んでいます。



医科歯科コロナ対策HP

- 東京医科歯科大学では「医学部附属病院における新型コロナウイルス感染重症・中等症陽性患者の受入体制の構築」を、最優先事項に位置付け、全学的な支援を行っております。
- ポスト新型コロナウイルス感染症の社会に備えた医療体制を整えます。ご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



基金HP

東京医科歯科大学医学部附属病院 広報誌「オアシス」16号(令和3年3月)  
発行 東京医科歯科大学医学部附属病院 〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 東京医科歯科大学医学部附属病院総務課  
デザイン・SOYA 編集・宇山恵子 撮影・田山達之  
オアシスについてのご意見・ご感想は syomu2.adm@tmd.ac.jp までご連絡ください。  
本書の無断複写(コピー)は著作権法上での例外を除き、禁じられています。

## 東京医科歯科大学医学部附属病院



# オアシス



2021年10月より  
「東京医科歯科大学病院」に



リモートリハビリテーションの開発



オンラインセカンドオピニオン外来がスタート



脱水予防法を臨床栄養部がアドバイス



経外耳道4K内視鏡下手術のようす

### INDEX

- 内田信一院長のごあいさつ
- 病院一体化について
- 機能強化棟について
- 新任メンバーの紹介
- オンラインセカンドオピニオン外来の紹介
- リハビリテーション部(ケガ・転倒予防)
- 泌尿器科(尿路結石外来) / 血管内治療科 / がんゲノム診療科 / 臨床試験管理センター(CRCの紹介) / 臨床栄養部(脱水について知ろう!)
- すぐ帰れるサービス/全診療科における完全紹介制の導入/セカンドオピニオン外来/献体のご案内/梅いち輪募金のお願い/新型コロナウイルス感染症対策基金のお願い



研修医、医師たちと語る内田信一院長

## 荒波を乗り越えて春が来た喜び 患者さんと病院スタッフに感謝

### 院内感染ゼロへのご協力に感謝

いつも東京医科歯科大学医学部附属病院をご利用いただき、ありがとうございます。2020年4月1日に病院長を拝命した直後より、新型コロナウイルス感染症が拡大し、いくつもの荒波が押し寄せました。お陰様で現在まで、院内感染を発生させることなく、波を乗り越えることができました。当院の利用者の皆様には、面会の中止・制限、入院前スクリーニング検査などの感染対策にご協力をいただき、心より感謝いたします。感染が収束し、一日も早く患者さんとご家族が心地良く快適に治療や入院ができる病院に戻れるよう、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

### 10月1日、「東京医科歯科大学病院」へ

さて当院（医学部附属病院）と歯学部附属病院は一つになり、2021年10月から「東京医科歯科大学病院」として新たなスタートを切ることになりました。

東京医科歯科大学は、「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」という理念に基づいて、開学以来、歯科・内科、二つの病院において、高度な医療の提供、医師および歯科医師等の育成、新たな医療技術の研究・開発を行ってまいりました。

しかし、今後の高齢社会の進行による疾病構造の変化や、今回の新型コロナウイルス感染症パンデミックのような新たな傷病の出現を見据えて、口腔疾患と全身疾患の区別なく、トータル・ヘルスケアを実現することを大学の目標に定めました。

このような大学の目標を達成するために両病院が一つになり、内科・歯科を問わない診療科間の協力を可能にすることで、より高度で、安心安全な医療が提供できるものと考えています。

新しい東京医科歯科大学病院においては、「世界最高水準のトータル・ヘルスケアを提供し人々の幸福に貢献する」ことを目標に、職員一同一層の努力をしております。

ご利用いただいている患者さんには、ご不便やご負担をおかけせずに「東京医科歯科大学病院」スタートの日を迎えられるよう、準備を整えてまいりますので、よろしくお願いいたします。

M&Dタワー前にある「知と癒しの庭」にて



機能強化棟の外観の完成イメージ

## 機能強化棟について

2022年に完成予定の機能強化棟は、内科棟（現・医学部附属病院）と歯科棟（現・歯学部附属病院）を結ぶ新しい施設。免震構造、自家発電システム、医療情報の管理など、災害時に強く、病院を守る機能を強化しています。その一方で、地上7階、地下2階で、交通アクセスもさらに充実する予定で、地域の人々が集うスペースも提供する準備を進めています。

春らしいイラストは当院の小児科に通院していた息



内田信一 医学部附属病院 病院長

## 病院一体化、ココに期待!

2021年10月から、「東京医科歯科大学病院」に一体化することへの期待について2人の病院長に聞きました。



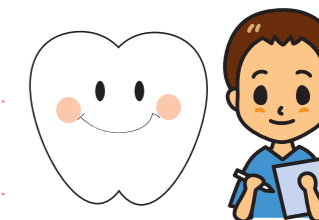
水口俊介 歯学部附属病院 病院長

「僕の専門は腎臓内科なので、慢性腎臓病（CKD）などの患者さんに対する口腔ケアなどで、歯学部附属病院のスタッフの皆さんには、以前からお世話になっています。一体化によって、すでに医学部附属病院を受診していた患者さんにも、今まで以上にスムーズに最先端の歯科治療をお届けできるのではと思っており、歯周病はじめ、多くの分野で進んでいる研究面での連携の成果も、患者さんに還元していきたいと思っています」

「年齢を重ねても健康であるためにお口と歯の健康はとても大切です。僕の専門は高齢者歯科学と補綴学、簡単に言うと高齢者のお口と歯の健康、および義歯の研究です。今まで培ってきた世界最高レベルの歯科診療実績と技術を、一体化する東京医科歯科大学病院にいらっしゃる患者さんに役立てることができるように取り組んでまいります」

## 病院一体化Q&A

- Q 診察券はそのまま使えますか？  
はい。そのまま使えます。診察券番号もそのままご利用いただけます。
- Q 病院一体化で、担当医師が変わってしまう？  
基本的には、病院一体化の影響で担当医師が変わることはありません。
- Q 病院一体化で、病院内が大幅に変わってしまう？  
10月1日から大幅に変わってしまうことはありません。診療科の名前や場所の変更がある場合は、事前にHPや院内掲示などでお知らせします。ご安心ください。



【放射線部門】  
データ管理システムなど、現在の連携体制をさらに強化します。



【検査部門】  
血液検査などを一カ所で行えるように準備を進めています。



【薬剤部門】  
業務ごとに内科棟と歯科棟に振り分け、さらに機能的に業務を進めます。



【その他】  
患者さんの利便性と病院機能の強化を目的として、感染部門、医療安全部門、医療連携部門などの一体化を進めていきます。

子さんのお母さんが描いた機能強化棟の完成イメージイラスト。電車が大好きな息子さんと御茶ノ水の駅を訪れるたびに当院のことを思い出してくださるそうです。こんな夢のある機能強化棟をめざしてまいります。ありがとうございました。

現在は建設工事中で、当院をご利用の皆様にはご不便をおかけしますが、機能強化棟の完成に向けて、ご理解、ご協力のほど、お願いします。



患者さんから寄せられた機能強化棟のイメージイラスト

# 新任メンバーの紹介

## 総合診療部



山脇 正永 先生(臨床医学教育開発分野教授)

2020年12月より着任しました。医学教育開発学分野は直接的には患者さんの診療を担当しませんが、学生・研修医の教育を通して間接的に病院内および大学内の各部門、学外の医療機関や教育施設と連携して、医師養成のための教育環境を整備提供することで、患者さんにより良い医療をお届けしたいと思います。卒後教育としては総合教育研修センターと連携し、当院および協力病院・施設にて研修するプログラムを作成し、知識・技能・態度に優れた医師を育てるため、研修環境の充実を図っています。さらに医療安全管理部、大学保健管理センターとも協力し、学生・研修医の安全面の管理も行っています。より良い医師を育てるため皆様のご意見をいただければ幸いです。(私自身は脳神経内科外来も担当しております。)



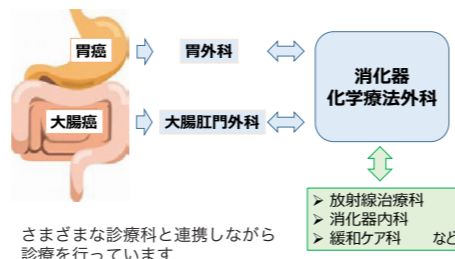
臨床研修のようす

## 消化器化学療法外科



石川 敏昭 先生(消化器化学療法外科診療科長/准教授)

当科では、消化器疾患に関する経験と知識をベースにがん薬物療法の知識と経験をもって、進行した消化管がん(主に大腸癌および胃癌)に対するがん薬物療法の個別化の実践と集学的な治療のマネジメントを行っています。大腸癌と胃癌の薬物療法は急速に進歩しており、使用する薬剤は抗がん剤や分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬など多岐にわたり、治療の選択肢が増えていきます。治療のエビデンス(期待される効果と安全性、有害事象など)だけでなく、患者さんの価値観や希望・環境を検討しながら多様な選択肢から患者さんに適した治療を提供することを目指しています。また、QOL(生活の質)の維持・向上のために、緩和医療や地域医療連携も積極的に行っています。胃癌は胃外科、大腸癌は大腸肛門外科と連携していますので、お気軽にご相談ください。(遺伝性大腸癌の診療も遺伝子診療科と連携して行っていますので、ご相談ください)



さまざまな診療科と連携しながら診療を行っています



## コロナ外来診療センター



山田 徹 先生(総合診療科講師)

COVID-19 パンデミックに伴い2020年4月からテント診療を開始、その後歯学部病院を利用した歯学部肺炎外来、7月からは陰圧プレハブ診察室を設置して3号館コロナ肺炎外来開始と、走りながら設備を拡充してきた当院のコロナ外来診療部門ですが、2020年9月より3号館コロナ肺炎外来にコロナ患者専用のCTの設置・稼働が始まり、当初計画されていた一通りの装備が整いました。それに伴いコロナ外来診療センターと名称を変更し、本格運用を始めております。

当外来はCOVID-19肺炎疑いの紹介患者さん、当院かかりつけの発熱患者さんが主な対象になります。COVID-19診療と通常診療の両立がスムーズにできるよう、運用面でもさらなる改善を続けていく予定です。受診をご希望の場合、まずは近隣のかかりつけ医を受診して診断報告書(紹介状)をご用意ください。



コロナ肺炎外来診療センターの入口と内部のようす

# オンラインセカンドオピニオン外来

4月1日より  
スタート



当院が従来から設置している「セカンドオピニオン外来(当院以外の医療機関に通院している方を対象に、現在の診断内容や治療法に関して、当院の専門医の意見・判断を提供する外来)」を、オンライン(パソコンやスマートフォンを使って行う)診療でも受診できるようにしました。これが4月1日よりスタートする「オンライン・セカンドオピニオン外来」で、ビデオ通話システム「Zoom」を利用して、当院に来院いただくことなくご自宅等で受診が可能です。受診するためには所定の準備、書類の提出などが必要ですがご来院なしで設定が可能です。詳しくは、右記のQRコードで病院ホームページにアクセスしてご確認ください。



## 注意

セカンドオピニオンは、主治医や通院先を変更するのではなく、当院の医師への相談の時間としてご利用いただくもので、検査や治療は行いません。患者さんのお話と現在の主治医からの資料をもとに、当院の医師が意見を提供します。通常の外来診療とは異なります。

セカンドオピニオンの対象となるのは、ご本人とご家族のみです。ご本人が不在で、ご家族が受診する場合は、ご本人の「相談同意書」が必要です。



### お受けできない相談

- ×ご本人とご家族以外からの相談
- ×精神疾患に関する相談
- ×当院から指定された「相談に必要な資料」が提出できない場合
- ×主治医に対する不満、医療事故に関する相談や訴訟への発展が予想される場合
- ×ご本人がすでにお亡くなりになられている場合
- ×すでに根本的治療が終了し、その後の遺残症状に関するご相談
- ×申し込み後2カ月以上、申込者と連絡が取れない場合
- ×その他



## リハビリテーション部

### ケガ・転倒予防 第1回 つま先&かかと上げ

簡単にできるケガや転倒を予防する簡単なエクササイズを当院リハビリテーション部スタッフが紹介します。

#### ねらい

足の先が何かに突っかって転びそうになるのは、すねの筋肉が衰えているからかもしれません。そこでつま先とかかとを持ち上げるだけの簡単なエクササイズを行ってみましょう。



#### 手順

- ①背筋を伸ばして壁や手すりにつかまって立つ
  - ②かかとを床につけてゆっくりつま先を上げる
  - ③つま先を床につけてかかとをゆっくり持ち上げる
  - ④これを交互にゆっくりと繰り返す
- \*バランスもアップします!



リハビリテーション部  
岡安 健副部長(右)と青山大樹理学療法士(左)



#### 注意

地味な運動ですが、ゆっくり行くと意外に全身の筋肉を使うことになります。無理をせずに、疲れたら途中で休憩しましょう。転ばないように壁や手すりにつかまって行いましょう。

# 新任スタッフ・診療科の紹介

## 泌尿器科 尿路結石外来がスタートしました



藤井靖久 先生 (泌尿器科診療科長・教授/副病院長)



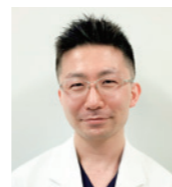
泌尿器科の尿路結石に関する情報ページ

### Q 尿路結石はどんな病気、症状ですか？

腎結石、尿管結石、膀胱結石、尿道結石をまとめて尿路結石と呼びます。近年、尿路結石の患者さんは増加しており、食事内容の変化や生活習慣病の増加、CTなどの画像検査の増加などが要因とされています。尿路結石でとても痛い思いをした方や、健康診断等で腎結石があると言われた方は決して少なくないでしょう。しかしながらその結石に対して、治療対象となるのか、経過を見てよいのか、自然に排出されるのを待つのか、薬で溶かせるのか、破碎(はさい)した方がよいのか、破碎するならどの方法がよいのか、結石がでやすい素因があるのか、予防はできるのか、様々な疑問があるかと存じます。

### Q 尿路結石外来のねらいは？

この度、尿路結石外来を金曜午後に開設いたしました。この外来を主に担当させていただき内田裕将と申します。この尿路結石外来は、尿路結石を指摘された患者さんの専門外来です。現在、大部分の尿路結石に対する破碎治療が当院で完結できるようになっています(非常に大きな腎結石の患者さんや小児の患者さんなどは、治療機器の関係から他の専門施設に紹介する場合があります)。



尿路結石外来を主に担当する泌尿器科・内田裕将医師

### Q 受診方法は？

尿路結石と診断され当院での診療をご希望の患者さんは、担当医へお声かけください。本院であれば泌尿器科以外の医師でも直接予約を取ることができます。外部の病院・クリニックからも「尿路結石外来」宛の紹介状を作成していただくことで、予約を取得することが可能です。誠意を持って対応いたします。

## 血管内治療科 脳や脊髄に関連する血管の病気を治療します



壽美田一貴 先生 (血管内治療科診療科長・教授)



血管内治療科の患者さん向けページ

### Q 血管内治療科ではどんな病気を診ますか？

脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、一過性脳虚血発作、脳および頸部頸動脈狭窄症、脳動脈瘤、脳・脊髄動静脈奇形、硬膜動静脈瘻の診断や治療を主にを行います。また、脳神経外科や頭頸部/耳鼻咽喉科より紹介された脳腫瘍や頸部腫瘍の塞栓術も行います。

### Q 当院の血管内治療科の特徴は？

国立大学で唯一、「血管内治療科」を診療科・講座として標榜しており、血管内治療を専門に扱っている



血管内治療科の外来診療の様子

診療科です。また、脳卒中を専門とする脳神経外科と脳神経内科でチームを構成し、内科と外科の両側面からみた最善の治療を検討しています。

### Q 治療が難しいと言われた場合も受診できますか？

当院では他院で治療が困難であった患者様からのご相談も多く、珍しい病気の治療経験も豊富です。とくに巨大脳動脈瘤や硬膜動静脈瘻の治療に力を入れており、最良、最新の治療を提供し、すべての患者さんが安心して生活していただけることを目標としています。



## がんゲノム診療科 診療科の紹介とがん遺伝子パネル検査について



池田貞勝 先生 (がんゲノム診療科 科長/准教授)

### Q どんな診療科ですか？

がんゲノム診療科では、最新の技術を活かし、がんに対する標準治療が効かなくなったり、効かなくなりそうな患者さんの遺伝子を調べ、遺伝子の変化に基づいた治療を行う「がんゲノム医療」を提供しています。



### Q 具体的にどんな治療をしますか？

代表的なものが、がん遺伝子パネル検査です。患者さんの検体(手術の際などにとられた組織を使用する方法と、採血による血液を使用する方法があります)を調べて遺伝子変異を見つけます。遺伝子変異が見つかった場合には、治療薬の候補を探します。治療薬の候補が見つかった場合には、治験などを利用して患者さんに投薬する手段を探します。

### Q 受診する方法は？

対象となるための条件や、費用などについて、がんゲノム診療科のホームページで詳しく説明しています。ご利用ください。



がんゲノム診療科に関する情報ページ

## 臨床試験管理センター 臨床研究コーディネーター(CRC)の紹介



小池竜司 先生 (臨床試験管理センター長/副病院長)

臨床試験管理センターは、院内の様々な診療科の患者さんを対象に実施される、治験および臨床試験を管理する部門です。

中でも治験は、医薬品または医療機器の保険承認取得目的で行われる臨床試験で、製薬会社等から依頼を受け、行政の管理下で行われ、倫理的・科学的に質が高く、正確に実施することが厳しく求められています。したがって、これらの実施において、担当医師はもちろん、看護部、検査部、薬剤部、事務部門などのさまざまな職種の協力が必要不可欠です。

当センターには、治験の支援や補助を行う専門職として、看護師・薬剤師・検査技師などの資格を持つCRC(治験コーディネーター=Clinical Research Coordinator)が院内各部署から配属され、治験担当医師の補助や被験者の対応、治験や新薬開発に関連する法律や指針に沿った書類作成など、煩雑で複雑な業務をきめ細やかに、しなやかに実施しています。

この日頃のたゆみない活動実績が認められ、このたびCRCの錦戸梨紗さん(看護師)が、MSDによるCRC AWARD2020を受賞しました。「CRCとして、さまざまな疾患を抱えた患者さんには、わかりやすく親しみやすい説明やサポートを実施し、院内各部署との連携によって、確実に緻密な臨床試験の実施を今後も心掛けていきたい」と錦戸さんは語ります。

未来の国民の健康に寄与すべく、新薬や新規医療技術の開発に関する臨床試験の実施について、引き続き大学病院としての責務を果たしていきたいと考えています。



CRC Award 2020を受賞した看護師の錦戸梨紗さん(写真左から小笹師長、錦戸さん、浅香看護部長)



臨床試験管理センターに関する情報ページ

## 脱水について知ろう!

## 臨床栄養部

### Q. 脱水とは？

脱水とは生命の維持に必要な水分が不足している状態をいいます。脱水を防ぐには、「摂る水」と「出ていく水」のバランスが崩れないように心がけることが大切です。脱水になると下記のような症状が現れます。

軽症	口の渇き、尿量減少、頭痛、脱力・倦怠感、立ちくらみ、食欲不振
中等症	強い口の渇き、口腔・舌の乾燥、乏尿、頻脈、悪心嘔吐、めまい
重度	意識障害、錯乱、昏睡、興奮、幻覚

### Q. 脱水をチェックする方法は？

自分が脱水になりかけているか、自分の尿の色や量を目安にする簡単な方法があります。尿の色が濃いほど、また普段より尿の量や回数が少ないほど、脱水の疑いがあります。



尿の色が4以上の時は脱水です。速やかに水分を摂りましょう!

### Q. 脱水を予防する方法は？

成人は1日約2000mlの水分摂取を目標にします。3食の食事をしっかり食べることができれば、食事から約1000mlの水分が摂取できます。さらに食事中、食事の間で水分をこまめにとり、食事以外からの水分摂取を1日約1000mlの目安で摂りましょう。喉の渇きを感じる前に水分を摂ることも大切です。(基礎疾患がある方は主治医に相談してください。)